

2022年度 滋賀県立総合保健専門学校関係者評価懇話会

日時：令和4年10月19日(水) 13:00～15:05

場所：総合保健専門学校会議室

出席者：学校関係者評価懇話会委員 9名（全員出席）

事務局 7名

内容	
1. あいさつ	13:00～13:03
2. 自己紹介	13:03～13:08
・各施設出席者自己紹介	
・学校評価委員自己紹介	
3. 議題	
(1)令和3年度組織目標について	13:08～13:38
○放送した動画について	
(2)令和3年度学校評価委員会の活動報告について	13:38～14:09
①教員自己評価結果	
学生アンケート結果	
(3)令和4年度学校評価委員会の活動計画について	14:09～14:35
①学校自己評価の実施	
②学生支援活動の充実	
③卒業支援のための新たな取り組みの検討	
(4)その他	14:35～15:05
①令和5年度入学試験について	
②令和4年度オープンキャンパスについて	
4. 意見交換	

3. 議題

(1) 令和3年度組織目標について

- ・教員はそうでもないが学生からは人権が守られてないと感じるのは特に何かの分野とかそういったことではないか？（例えば）学生指導の中など
- 特に具体的な意見は出てこなかったが、一昨年のアンケートでも10%乖離があり、教員も気にしている。教員としては100%人権を擁護している結果が出たが、学生はそうではなかった。教育現場でアンケートを取る際はそういった結果が出やすい背景はあると思う。学生の不満などについて、数年前から目安箱を設置して、校長から確認するようにしている。ハード面はなかなか難しいが、意見があったことに対して回答している。
- どうしても乖離はすると思う。特に何か事案等はあるか。
- 特別なことはない。ただ、看護では学生が実習でフェイスシールドをつけることが合わないということがあり、別のもので代用するという対応を取った。また、退学する学生は一定いるが、毎回校長が直接面談するようにしている。教員（との関係）が理由で退学ということは今のところはない。

○放送した動画について

- ・昔は人数の多い中でやっていたので実感がなかったが、今の学生はきめ細やかに指導を受けているように見える。学生の志が見えてよい。
- ・学内実習などリアルでどういった学生生活を送っているのか映像で見られてよかった。
- ・教員もだが学生の様子を映像で見ることができたのはよかった。
- ・学生の専門的な部分も大事だが、学生の人間性を知ることができる映像が見られてよかった。
- ・リアルタイムで見ていたが、実際の学生が触れ合う様子が見られる動画でよかった
- ・録画して見ていたが、歯科の実習風景でも口腔撮影用カメラといった最新の機器が使われている様子、白衣など細やかな点も見られてよかった。
- ・職場でリアルタイムで見ていたが、動画で高校生に伝わるメッセージになったかと思う。

(2) 令和3年度学校評価委員会の活動報告について

教員自己評価結果

学生アンケート結果

- ・コロナ禍でアルバイトは禁止してボランティアは推奨するのは今後取り組みを改めるのか。コロナが収束した際はアルバイト再開なども予定にあるのか。
- 兼ね合いは難しいと思うが、経済状況に応じて相談に応じるなど対応している。実習先に迷惑をかけるような（アルバイト禁止は）意識を高く対応しなくてはいけないと学生に周知している。今年度のアルバイト禁止はやむをえないと思っている。
- 難しい問題だとは思っている。臨床も地域に寄り添った支援活動なので地域のつながりを大事にしている。一方そういった活動も（蜜になる場合は）学生の参加は難しいと思う。
- ・臨床の施設の側だが、自身も学生時にはアルバイトをしていた。アルバイトも社会の上では貴重な経験で実務にも活かせる部分があるので、コロナが明けた際にはアルバイトは前向きに検討しても良いと思う。実習の1か月前からアルバイト禁止などの準備もされていると思うが期間を見直しても良いと思う（私的な意見だが）。
- ・病院施設だとクラスターが発生した場合、施設によって病棟閉鎖など地域住民の健康に与える影響が大きい。学校を信頼して受け入れを行っている。今まで学生の受け入れで大きな問題になったことはないが、施設側としては神経質になるころではある。コロナが収束した際はアルバイト再開も良いと思うが今の段階では難しいと思われる。

- ・大津高校でも家庭科学科で地域の保育園に実習で行くことがある。以前、コロナの感染者数が多い際も受け入れてもらっていた。それに対して、学校の指導の仕方としては期間で表すのではなく、こういった状況でも受け入れてもらえる施設に行くにあたって、自身はどういう行動をしなくてはならないかという指導をしていたのではないかと思う。学生もそういった視点からだと納得していくのではないか。指導の際はそういったことから学生に考えてもらおうと良いと思う。
- ・アルバイト禁止はいつからか（学年は）。
→1年生から禁止している。
- ・川端委員からのここまでの講評。

3. 議題

(3) 令和4年度学校評価委員会の活動内容について

学校自己評価の実施

卒業支援のための新たな取り組みの検討

- ・心の耳カードはどういったものになるか。
→相談のカードで、相談があれば相談できるように連絡先を記載している。
- ・卒業生した後に困ったケースがあればここに連絡すれば良いという形式のものか。
→そうである。卒業時に配布している。卒業前に既卒生からの体験談を話してもらう機会などあるが、卒後に卒業生が相談しにくる件数はあまりない。今いる学生に時間を大きく割いていて、幅を広げていくのは現実的でないのが現状である。
- ・卒業生支援で他校では数か月後に同窓会のような形で学校に戻る機会があるが、総合保健専門学校は相談カードという形で支援されているということか。
→そうである。他校に詳しく話を聞いたところ、カミングデーなども設けるが、勤務日から帰って来る数はあまり多くなかったとのことであった。一方で、たくさんの学生が就職している先に出向くなどもあるが、勤務先のしんどさを学校の先生に話せるかということも実際難しいという話になっている。
- ・自身の時は学校に相談する選択肢はなかったので、現在の選択肢は人それぞれだと感心している。現在はネットでの相談などがあると拠り所として良いのかもしれない。
- ・実習の際に教員と話やすい環境であれば相談しやすいこともあるのかと思う。
- ・高校ではたまに卒業生が来たら当時いた教員と話すこともあるが、内容についてはあまり深く知らない。一方的に同窓会だよりを送っている学校もある。学校のことを思い出して頑張れることもあると思う。支援と言えるか分からないが何かつながることがあれば、時代は変わっているので学生に聞くのも一つの手かもしれない。新しいことが出てくるかもしれない。
- ・総合保健専門学校の同窓会報はあったか。
→同窓会報はない。
- ・同窓会費はあるか。
→卒業時一回だけある。
- ・同窓会費でアルバイトを雇っての発行などあるところもある。そういったものを発行してみても良いかもしれない。卒業生のアンケートなどもグーグルでとってみてはどうか。
→卒業生のアンケートは現在ペーパーで取っている。結果については次年度のカリキュラムに活かしている。卒業生の支援には結びついていない。また、無記名のため、中々こちらからの支援が難しい。
→ホームカミングデーも今夏のコロナの感染拡大などがあると難しいのが現状。

(4) その他

令和5年度入学試験について

令和4年度オープンキャンパスについて

- ・推薦入試の合格発表が遅く、一般入試の募集締め切り後になっている。もう少し期限を短くすることはできないか。
→今回試験日程を改めたこともあり、意見を頂戴して次回以降改めていく予定である。
- ・試験結果について何人受けたなどHPで見ることできるか。
→看護専門学校も総合保健専門学校もHPで公開している。
- ・受験者数は看護の県内全体で平成30年と比べると半減している。オープンキャンパスで専門学校を見学に行く人は県内のどこに行くかそこで決めている傾向にある。大学に関しては県外の大阪に流れている傾向にあるように思われる。歯科については、社会のニーズについて学校について知名度が上がってきた実感がある。県内の学校は本校しかなく、他は県外にしかないため、ニーズがあると思われる。
- ・人口減少については2021年から2031年に向けて、19歳以下の人口は全国で214万人減るとされていて、滋賀もその影響はあると思われる。どの職種も人が足りていないので、県全体で取り組む必要がある。
- ・大学も学生集めに必死になっている。AO入試の早い時期に学生を取る割合が増えている。ライバルは増えると思われる。
- ・看護職員確保をする上ではまず看護の魅力を伝えていかなくてはいけない。高校生までに看護職の意思決定をしている。中学生の時に契機があってなど。そのため、中学生・小学生などに対して看護の魅力を伝えていくことに注力している。専門学校の魅力・大学の魅力をしっかり伝えていく必要があり、紙媒体や動画など目につくように幅広い世代に興味を持ってもらえるように作成して、次年度には広げていきたい。
- ・高校での看護体験について、受け入れ人数に制限がある。大津高校では7名。1・2年生はその時点で外してしまう（3年生優先のため）。そういった枠も拡充されるとゆくゆくは総合保健専門学校などの受験者も増えるのではないかと。
→そういった意見はありがたい。可能であれば調整していきたい。

4. 意見交換

特になし。